

被災地支援活動に行ってきました



今回は、旭北地区・たすけあいハウス（家を開放した多世代交流の場）の

柳澤さんより被災地支援活動の報告をいただきました。

西日本豪雨災害の災害ボランティアとして、平成30年7月25日～26日に広島県の三原市にて活動しました。何か自分にできることはないかと考えていたところ、知り合いに「広島に行って、一緒に活動しよう!」と誘われ、広島に行く決心をしました。現地では災害ボランティアセンターを通じて、個人宅に行き、家の中に入って来た泥出し、柱の消毒、家や敷地内の清掃、荷物運び、雨水で汚れた物の清掃等、行く場所によって活動内容も様々でした。



たすけあいハウス
柳澤 智敬さん

水が2階近くまで来ている家、木の上の方まである泥の跡、車や家が流されて土に埋まっている現場を見たことで被害の甚大さを強く感じました。現地で活動していく中で、地域の方の思い、人との繋がり、防災に対する意識の必要性等たくさんのことを学ぶことができました。

ボランティア活動は、自分自身を変えるきっかけを与えてくれる場所になるかもしれません。もし、興味があれば積極的に参加し、まずは行動してみてください。何か見えてくるものがきっとあるはずですよ。

大きな災害が起きると区社協が災害ボランティアセンターを設置・運営します。被災地でボランティア活動をする際は、必ず、事前に地元の社協でボランティア保険に加入してください。



泥出しや消毒を実際に行った家

● ボランティア保険説明会のお知らせ ●

安心、安全にボランティア活動を行うための保険について保険会社の方からお話を伺います。

日時：平成31年2月19日（火）

10:00～12:00（予定）

会場：ぱれっと旭 2階 多目的研修室

対象：平成30年度ボランティア保険加入団体

定員：70名（先着順）申込期間：1/29～2/5

内容：活動保険・行事保険等の申込み時の注意点や改訂ポイントについて

★新コーディネーターの紹介

9月より旭区ボランティアセンターにて勤務させていただくことになりました川口です。皆さんの気持ちに寄り添いながら、ボランティア活動のお手伝いができるよう、頑張っています。

どうぞよろしく

お願いいたします。



コーディネーター 川口 由美



あさボラ通信

地域に住む高齢者、障害のある方を、同じ地域で支える住民によるグループがあります。

自分たちのできることをできる範囲で行う「ちょこっとボランティア」。

今号では、誰もが住みよい街づくりの“縁の下の力持ち”的存在の皆様にお話を伺いました。



二俣川ニュータウン

「ちょこっとしえんたい」のみなさま

詳しくは中面へ→



今地域では、住み慣れた地域で暮らし続けていくために、住民による支え合い活動が求められています。「地域のあらゆる住民が役割を持ち、支えあいながら共に生きていく社会」

旭区社協は地域共生社会の実現に向け、皆様と一緒に取り組みます・・・



旭区ボランティアセンターとは・・・

ボランティアをしたい人(団体)とボランティアに来てほしい人(団体)をつなぎます。活動中のボランティア活動に関するご相談にも応じています。専属のボランティアコーディネーターがお話を伺い、ボランティア活動を支援します。



横浜市旭区社会福祉協議会 旭区ボランティアセンター

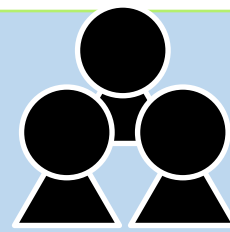
開館時間：月曜日～土曜日 9時～21時
日曜日・祝日 9時～17時

〒241-0022 横浜市旭区鶴ヶ峰1-6-35
電話：045-392-1133 FAX：045-392-0222
Eメール：asavora@ceres.ocn.ne.jp



二俣川ニュータウン地区

チョコットしえんたい



市沢地区

キャッツ・ハンズ・クラブ

10月の定例会におじゃまし、メンバーの皆様(表紙写真)にお話を伺いました。

平成16年当時、高齢化率が区内で最も高かった二俣川ニュータウン地区。一人暮らし高齢者等を地域で支えあう活動が必要だという声が多く上がり、地域懇談会で話し合いを重ねた末、平成19年3月に「二俣川ニュータウン チョコットしえんたい」が発足しました。

★現在の活動状況についてお聞かせください。

昨年1年間の活動は、474件(195名)の依頼に対応しました。戸建てが多い地域柄、依頼内容は、庭木の剪定や草取りが圧倒的に多く、件数は年々増加傾向にあります。

チョコットしえんたい基本情報

- 受付内容:庭木の剪定・草取り・部屋の掃除・ガラス(窓)拭き等 全20項目
- 料金:1時間500円/1人(原則2名で作業)

★どのようなきっかけでこの活動を始めたのですか? 活動して感じることは?

- 地域で知り合いや、人とのつながりがあまりなかったので、「地域との関わりを持ちたいなあ」と思って始めました。(鶴飼さん)
- 横とのつながりのため。「オヤジがやっていることくらいしかできないけど…」という前提でやっています。(副会長・鶴岡さん)
- 会社を引退し、地域とつながりを持ちたいと思った。ボランティアとは思わない。自己満足です(笑)(小幡さん)
- 困っている方を助け、自分もできなくなったら助けてもらう。お互い様のボランティア活動です。(川島さん)

★こんなグループにしたい!という思いや展望を教えてください。

あくまでも地域住民の”生活支援“。地道に一つ一つ、地域に根付いた活動を続けていきたい。住民から「しえんたいがあってよかった」と言われる団体でありたいと思っています。(会長・春田さん)

草取り活動中の様子→

6月から9月の酷暑の作業は体調管理が大変…でも感謝されることにやりがいを感じます!



★成り立ちについて

「顔の見える関係」から「声をかけあう関係」に変わることを目指したい…2年の準備期間を経て平成29年10月にCats Hands Club(以下CHC)は発足しました。他団体へのヒアリングや住民へのアンケート調査によるニーズ把握などを丁寧に行い、9回の設立準備会の中で、作業内容や料金の設定もすべて自分たちで行いました。ちょっとしたことでお困りの方にささやかな安心を届けたい…と見守り活動も兼ねたこの活動。「猫の手も借りたい」から名づけられたグループ名「CHC」も、徐々にですが、住民に浸透してきています。

★始まって1年が経ちましたが活動状況はいかがですか?

サポーターの募集を行ったところ、約50名の住民が趣旨に賛同し登録。作業ごとにリーダーを決めて、依頼を受け付けています。草むしり、包丁研ぎ、買い物などの依頼が多くありますが、会のチラシ(上掲)に載っていない依頼が入った場合は、会で話し合い、依頼に沿えるよう相談に乗っています。

★活動中にあったエピソードをお聞かせください

- 依頼者の中には一緒に住んでいるご家族がいても家族には頼めないという環境に寂しさを感じました。…が、こういった方も少なからずいらっしゃることを知り、そのような方々の手助けもできたらな、と思いました。(堀江さん)
- 以前は挨拶もなかった方が最近話しをしてくれるようになりました。(サポーターKさん)

主な作業内容と料金		
買い物 お店と新柄、価格などを指示してください 1時間以内・500円	簡単な庭木の剪定 刈り込み剪定は樹高1.5m以下、脚立は使用しません 高枝剪定は行いません 足長株の葉の除去は行いません 1時間以内・500円	簡単な大工仕事 短時間で作業可能なものに限り 1時間以内・500円
ゴミ出し サポーターの自宅周辺に限り 1軒・1000円/月	草取り 1日の作業時間は1時間を標準とします 面積1㎡・80円	病気の付き添い 車いすには対応できません 1時間以内・500円
包丁研ぎ ご自宅に伺っての作業 又は持ち帰っての作業 1本・300円	簡単な掃除 洗剤・道具はご用意ください 1時間以内・500円	電球の交換 原則として交換品はご準備ください 1回・300円
水やり 1週間を標準とします 1回30分以内・250円	蛇口のパッキン交換 適合品には対応できません 1時間以内・500円	

高齢者及び体の不自由な方、又は支援者が身近にいない方を対象とする事業ですので、ご家族の支援が可能な方のご利用は約引き受けできない場合があります。



お話を伺った(左から)事務局の岩本さん、リーダーの井上さん、活動をサポートする左近山地域ケアプラザ・生活支援コーディネーター鈴木さん

★サポーターの皆様にとってCHCとは?

- お手伝いを楽しんで、顔の見える関係を広める活動
- 定年後の地域デビューの一つ
- サービスの受け手となる人も、受けっぱなしにならないシステム、「私もこれならできる!」と循環できる仕組みづくりを目指していきたい。

身近な地域での活動を希望される方は、旭区ボランティアセンターまで!

